

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 30 年 6 月 8 日

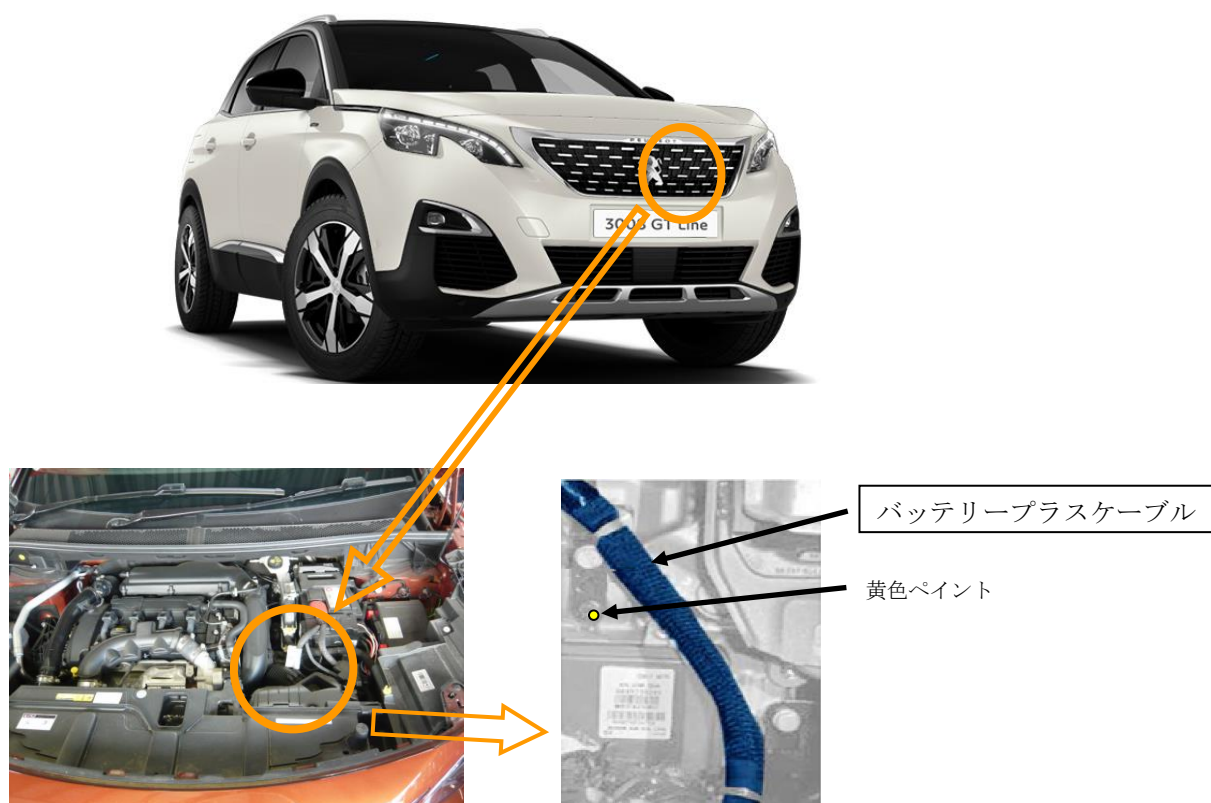
リコール届出番号	外 - 2672	リコール開始日：平成 30 年 6 月 8 日	
届出者の氏名又は名称	プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社 代表取締役 クリストフ プレヴォ (製作国： フランス共和国) (製作者名： オートモビル・プジョー) (問い合わせ先： 0120-840-240 プジョーコール) (製作者名： オートモビル・シトロエン) (問い合わせ先： 0120-55-4160 シトロエンコール)		
不具合部位 (部品名)	①電気装置 (電源供給配線)、②燃料装置 (燃料パイプ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①バッテリープラスケーブルの取り回しが不適切なため、当該ケーブルがエンジンサポートと接触するものがある。そのため、エンジンの振動により当該ケーブルの被覆が損傷し、最悪の場合、短絡して火災に至るおそれがある。 ②燃料パイプとフロアアンダーカバーの間隙が少ないため、組付け誤差により燃料パイプがフロアアンダーカバーに接触するものがある。そのため、走行中のフロアアンダーカバーの振動により、燃料パイプが損傷し、最悪の場合、燃料パイプに穴があき燃料が漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、バッテリープラスケーブルを正しい位置に変更し、保護カバーを取り付ける。また、バッテリープラスケーブルが損傷していた場合は、当該ケーブルを良品に交換する。 ②全車両、燃料パイプに保護材を取付ける。また、燃料パイプが損傷していた場合は、当該パイプを良品に交換する。		
不具合件数	0 件	事故の有無	0 件
発見の動機	本国からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用者 : 電話・ダイレクトメールにて通知する。 ● 自動車分解整備事業者 : 日整連発行の機関誌へ掲載する。 ● 対策実施済車両 : 対策済車両には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2672のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
プジョー	ABA-P845G01	「3008」	VF3M45GZWGS185097～VF3M45GZWHS133247 平成28年12月20日から平成29年7月12日	510台	①②510台
			VF3M45GZWGS185097～VF3M45GZWHS228972 平成28年12月20日～平成29年10月27日	108台	②108台
	LDA-P84AH01		VF3MJAHWWGS187963～VF3MJAHWWHS229038 平成28年11月1日～平成29年10月27日	232台	②232台

シトロエン	ABA-B785G01	[C4ピカソ]	VF73D5GZTGJ752972～VF73D5GZTGJ753002 平成28年8月26日～平成28年10月3日	31台	①31台
	ABA-B7875G01		VF73A5GZTGJ748928～VF73A5GZTGJ755598 平成28年8月26日～平成28年10月3日	116台	①116台
合計	計4型式	計2車種	輸入期間の全体の範囲 平成28年8月26日～平成29年10月27日	997台	①657台 ②850台

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図 ①



注) : は点検する部品を示す

不具合の内容

バッテリープラスケーブルの取り回しが不適切なため、当該ケーブルがエンジンサポートと接触するものがある。そのため、エンジンの振動により当該ケーブルの被覆が損傷し、最悪の場合、短絡して火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、バッテリープラスケーブルを正しい位置に変更し、保護カバーを取り付ける。また、バッテリープラスケーブルが損傷していた場合は、当該ケーブルを良品に交換する。

識別

バッテリープラスケーブルをトランスミッション上部に固定しているステーに黄色のペイントでマーキングします。